

【宇土市震災復興計画（第1期）への意見・提案及び意見・提案への対応】

No.	意見・提案等	該当箇所	対応	対応の具体的内容等	提案者
1	・「みんなでつくろう！震災前より元気な宇土市！」は良いフレーズなので、概要版だけでなく計画本体にも記載してはどうか。	表紙	復興計画の修正	・キャッチフレーズとして表紙に記載しました。	有識者会議
2	・復興計画の策定は、震災等の発生から1年程度経過した時点となるため、例えば、「第1章 被災状況」と「第2章 計画の概要」の間に、また、「第1章 被災状況」の中で、これまでの復旧・復興を総括して、取組における課題を明確にすべきではないか。「第3章 復旧・復興に向けた取組み」において、単に「〇〇に努めた。〇〇に取組む。」となっており、説得力が乏しい感じがする。	P4～P12	参考	・第1期計画については、迅速な「復旧」に関する内容が多く、また、策定と並行して取組を実施をしているため、このような形になっています。 ・復興部分については、課題を明確化し取り組んでいきます。	パブコメ
3	・第2章の計画の概要において、第5次総合計画後期基本計画と震災復興計画（第1期）の関連性を明確にすべきではないか。関連性や整合性を明確にしておけば、第6次総合計画を整理しやすいのではないか。	P10	復興計画の修正	・第2章の「3. 計画の期間」について、表題を「3. 計画期間及び他計画との関係」に変更し、内容について総合計画への一本化について説明を記載しました。	有識者会議 パブコメ
4	・ヒアリングだけでなく、各業種の団体と一緒に作り上げていってはどうか。（例えば、行政だけが防災意識を高めても意味がないと思われる。）	P10	復興計画の修正	・第1期計画については、迅速な「復旧」に関する内容が多いため、行政主導となる部分が出てくることをご理解いただきたいと思います。 ・復興について描く次期計画については、みんなの協働をより意識して策定していくこととします（P10に記載しました）。	有識者会議
5	・第3章の復旧・復興に向けた取組み（復旧に向けた早急な対応）において、主体（担当部署）やスケジュール等について、可能な範囲で示した方がよい。	P13～P35	復興計画の修正	・第3章の「1. 復旧に向けた早急な対応」に掲載した全ての取組みについて、担当部署を記載しました。また、時期や期間が示せる項目については、完了予定時期等を記載しました。	有識者会議 パブコメ
6	・「第3章 復旧・復興に向けた取組み」について、例えば、「（3）地域産業の再生」において、「地域経済に甚大な被害をもたらした」とされているが、グラフや表を用いて具体的に記述できないか。また、復旧や復興の目標を数値で示せないか。	P13～P35	参考	・第1期計画は復旧メインの内容になり、復旧に関する目標は数値化が難しいため、数値目標は設定していませんが、第2期計画においては、復興の目標に関する数値目標の設定を予定しています。	パブコメ
7	・応急給水体制の強化について、今地震で私は湧水施設を大いに活用したが、意外に湧水箇所を市民の方が知らないと感じた。市内全域の湧水箇所を把握し、マップ化するのはいかがか。	P21	参考	・事業の実施手法に関するご提案であるため、計画本体の修正は行いませんが、市内の湧水箇所についてまとめた「新宇土市史・通史編（第1巻）」の情報の活用等について、手法も含め検討します。	市議会
8	・避難所の機能維持改善について、指定避難所にはトイレの整備は整っているが、指定外避難所（自治公民館や地域の公園など）にはトイレの整備が行き届いていない（男女一緒だったり和式だったり）。マンホールトイレは安価で利便性に優れているので確保するなど検討してほしい。	P21	参考	・事業の実施手法に関するご提案であるため、計画本体の修正は行いませんが、今後、避難所の機能維持・改善を進める中で、ご意見を参考に検討します。	市議会
9	・福祉避難所の機能強化について、スムーズに弱者の避難対応ができるよう是非避難者カードを採用してほしい。（弱者は緊急時において自ら支援を必要とする者であると主張しづらいらしく、家族も避難を遠慮する傾向があるため）	P21	参考	・事業の実施手法に関するご提案であるため、計画本体の修正は行いませんが、発災後速やかに避難所に避難されている要支援者の数や特性を把握するためにも、今回避難所避難者への聞き取り等を基に作成した世帯調査票や他市の避難者カードを参考にカード策定を検討していきたいと考えております。	市議会

No.	意見・提案等	該当箇所	対応	対応の具体的内容等	提案者
10	・自主防災組織については、組織するだけでなく、自主防災組織の訓練に地震の視点を取り入れてもらう様に市から指導していくことも重要だと思う。	P22	参考	・事業の実施手法に関するご提案であるため、計画本体の修正は行いませんが、熊本地震を受けて、共助を担う自主防災組織に求められる役割を明確にし、その活動の支援を行っていきます。	有識者会議
11	・市民から集めた廃油を庁舎解体工事に活用したという事例は市民が復旧・復興に関わったといういい事例なので、復興計画にも書いてはどうか。	P31	復興計画の修正	・「庁舎解体工事への市民参画」の項目を追加し、市民から回収した食用油を活用した庁舎解体工事について記載しました。	有識者会議
12	・庁舎再建について、創造的な復興の章には記述がないので、復興の章でも庁舎再建について書いてはどうか。	P38	復興計画の修正	・「(3) 災害に強い社会基盤の整備」の項目において、庁舎再建を含む施設再建について記載しました。	有識者会議
13	・市内には各種団体があり、普段は各々目的に応じて活動しているが、震災時は炊き出しや支援物資の民間による受給配給などを行っていた。しかし、本震2か月後の水害においては情報が乏しく、社協を窓口としたボランティアセンターのみ活動していたと記憶している。 ・この際、社協主体としたネットワークを強化し、何が支援過多で何が支援過少なのか、またニーズ量の情報などを共有できないかと考える。→ スムーズな支援体制が整えられないか。 (一例であるが、水害時において、物資や余っている量など運びたいのだがマンパワーが足りないという情報があった。情報の共有化が図られていれば人員確保は可能であると考えられた)	P39	復興計画の修正	・「1. みんなの協働による推進」の項目に、被災状況や支援ニーズの情報の共有の強化について記載しました。 ・支援体制の構築につきましては、社協をはじめ各種団体との連携がスムーズに行えるよう、有効な方法を検討していきます。	市議会
14	・計画の名称について、今回は復旧メインの内容であることから、「復旧・復興計画」としてはどうか。	全般	その他 (意見として伺う)	・名称については、ご提案の「復旧・復興計画」等も候補に含めた中で、内部で検討しました。復旧の内容が多くなっていますが、復興に向けた第1期という位置付けで推進していきます。	有識者会議
15	・「熊本地震に起因する豪雨災害」について、その全てが地震に起因しているかのような誤解を与えるのではないかと。相互の関係性についても丁寧に説明すべきではないか。	全般	その他 (意見として伺う)	・熊本地震と豪雨災害の因果関係については、明確になっていない部分がありますが、震災と豪雨災害で区別することなく復旧・復興していきたいという観点からこのようなまとめ方になっています。	パブコメ